こ・こ・ら・ぼ
～こころのコラボレーション～

スクールサポーター
（臨床心理士・公認心理師）
小林　真理

問い続ける力

昨今の新型コロナウイルスの影響で、私たちは経験したことのない状況に直面しています。危機的なニュースが流れると、つい「他人事」として捉えてしまいがちですが、今回ばかりは一人ひとりが意識して、今の自分にできることに取り組んでいるようにうかがえます。例えば、普段よりも手洗い・うがいをする、マスクをする、外出を控える、家での過ごし方を考えるなど、できる限りのことで「自分のこと」「身近な人を守ること」として行動しているのではないでしょうか。

オリンピックも延期になり、日本のみならず世界中で感染拡大を防いでウイルスの鎮静化という目標が掲げられています。SNSやマスコミ上のデマや「自分さえよければ」的な意見や考えは論外ですが、こういうときだからこそ、「今、どう過ごせばいいか」ということについて、自分とは異なる意見にも耳を傾け、目標の達成に向けて一緒に問い続けることが大切なのではないか、と考えさせられます。今回の場合の「問」というと、私たちのレベルで言えば、予防や感染拡大防止のために「自分に何ができるか」ということや、制限のある中で「できることはなにか」といったことになるのではないでしょうか。

自分だけで考えるのではなく、人の工夫やアイディアに触れる機会があれば、「ああ、なるほど」と感じることもあるでしょう。また一人では心が折れそうになることがあっても、誰かと一緒に問い続けていくことで、誰かの力になることがあるかもしれませんし、誰かから力をもらうことがあるかもしれません。

今回のような危機的な局面において、いきなり異なる意見に耳を傾けるということは難しいこともあるかもしれません。感情的になってしまったり、必要以上に批判的になってしまったり、自分の考えに固執してしまうことがあるかもしれません。しかし、こういう時だからこそ、**個々人で考えを深めるだけでなく、地域やコミュニティなどの集団として、組織として問い続ける力、学び続ける力をはぐくむことが、結果として全体の充実や目標達成に近づくことになるのではないでしょうか。**

今回のことに限らず、私たちはついつい自分と同じ意見、あるいは近い意見を受け入れ、耳障りなことを排除してしまいがちです。ただ、耳障りだと感じたとしても、その後それらの意見にどう耳を傾けるか、その一歩を踏み出せるか否かが、問い続ける力、学び続ける力を養うことにつながっていくのです。

ほんの少し意識をしてみることで、一回り二回り成長するチャンスになるかもしれません。自分自身で発見できることも考えられることもありますが、それらを共有することで広がっていくことや深まっていくことがあります。同じ意見や考えだけよりも、異なる意見だったり考えが集まる方が、広がりや深みにつながるものです。自問自答することも、とても大事なことですが、この機会をチャンスと捉え、さらに一歩踏み出して、集団として、組織として問い続ける力を養っていけるといいですね。

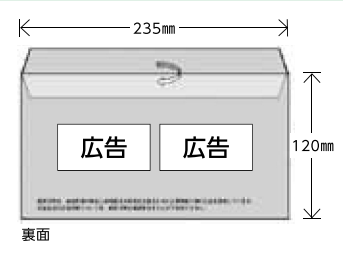
公用封筒に有料広告を掲載しませんか？

広告媒体の概要

- **封筒の規格**　窓あき封筒（12センチメートル×23・5センチメートル）
- **広告数**　2枠
- **広告掲載の範囲**　縦5センチメートル×横10センチメートル
- **作成予定枚数**　10、000枚
- **広告掲載料**　15、000円
- **募集期間**　5月7日(木)から5月22日(金)まで

※募集要項など詳しくは、町ホームページをご覧いただくか、問い合わせてください。

【問い合わせ】こども教育課　児童係　☎45-8672



児童係用封筒イメージ

軽井沢の植物と方言 38

ラッパのような花
フデリンドウ（筆竜胆）

町内にも自生し、南千島、北海道、本州、四国、九州の山野の明るい林等に見られる越年草です。4月下旬から5月下旬頃、青紫色の花をつけます。フデリンドウの名前は、茎の先につく花の様子が筆の穂先を思わせることから名づけられたそうです。

方言と由来等

①ラッパバナ

花の形が似ていることに由来します。スイカズラ科植物のニシキウツギにもラッパバナの方言があります。

【参考文献】佐藤邦雄（1978）信州佐久の植物方言

【問い合わせ】植物園　☎48-3337

～旧三笠ホテルの写真や資料を探しています～
旧三笠ホテルに関する写真や資料、思い出話などを募集しています。
お心あたりのある方はご連絡ください。